

要 望 書

平成 28 年 1 月

氷見市七分一地区

要望項目①

県道柿谷・池田線の整備推進について

県道柿谷池田線の改良事業につきましては、何かとお世話になり厚くお礼申し上げます。

平成 13 年度の用地買収以来、柿谷地区までの道路拡幅整備、また、平成 21 年度、25 年度、27 年度におきましても、当地区内の住宅密集地等における道路幅員の拡張及び側溝整備を完成していただき、住民一同心から感謝しています。

しかしながら、七分一地区内の当該県道におきましては、正願寺から農免道路との交差点の区間は、依然として歩道等の整備がなく改修・改善が未完成な区間として残されております。当該区間は、人家の密集とその狭隘さ、道路排水溝の深さから来る通行人への危険性及び対面通行車両の事故の度合いは高いものがあります。

また、能越道氷見インター（大野地内）完成後、地区内を貫流する交通量が増加しており、今後予定される国道 415 号の改良工事が本格化しますと現状にさらに拍車がかかるものと思われれます。

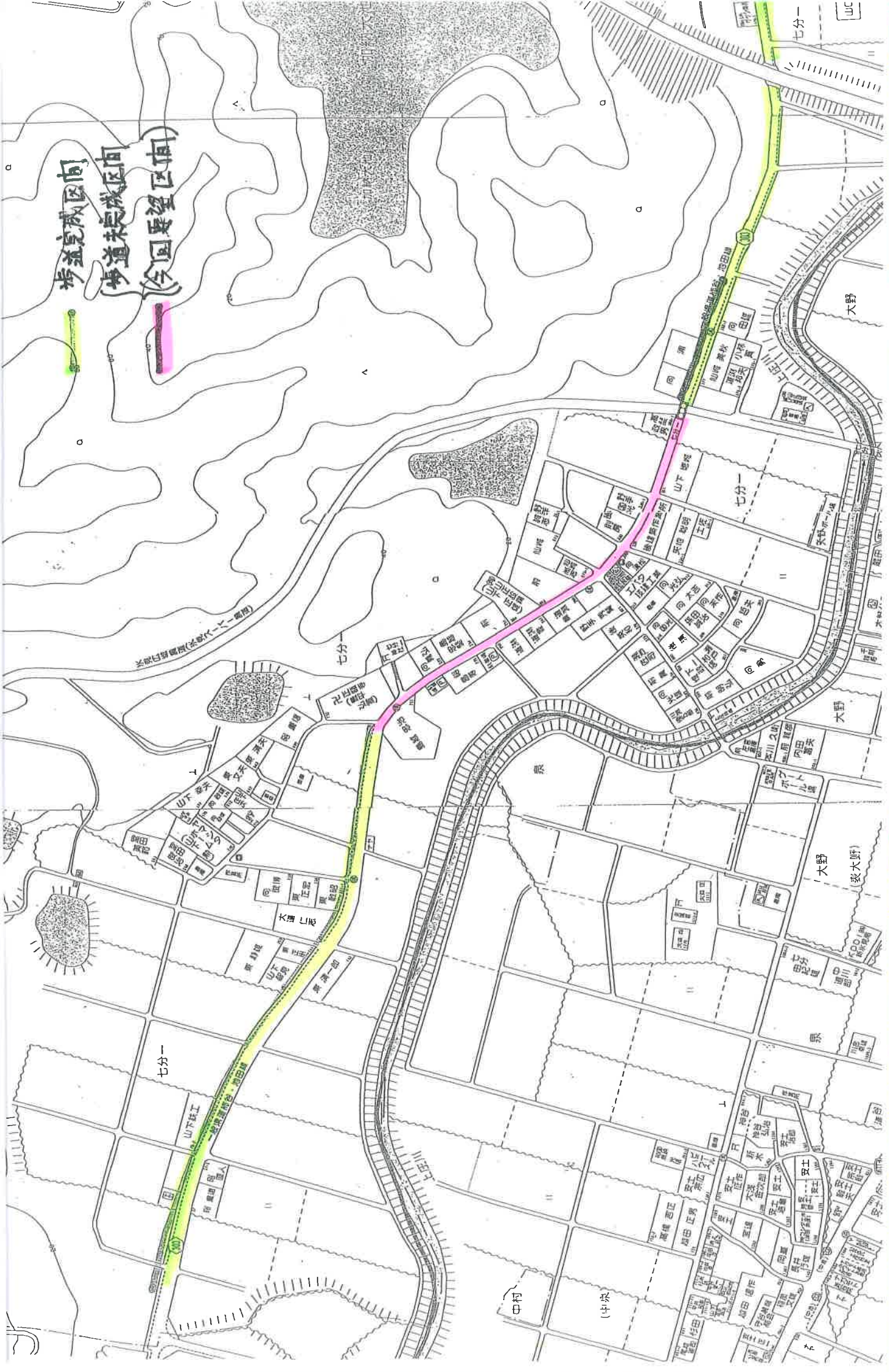
つきましては、財政状況が厳しい折とは存じますが、当地区の道路状況をご賢察の上、一部未改修等区間における道路整備事業を早期に着手・事業推進していただき、地域住民にとって安心で安全な生活環境を整備して下さいますよう心からお願い申し上げます。

氷見市七分一自治会

会 長 野 手 秀 賢



歩道完成区
歩道完成区
(今回要望区)



要望項目②

上庄川の治水対策事業の推進について

七分一地区は、上庄川下流部にあり、当地区を縦断する上庄川は地区内の3箇所において大きく蛇行しております。加えて堤防の高さにおいても当地区の対岸（上庄川右岸・泉地区及び大野地区）に比べてかなり低くなっており、このことに起因して農業用排水路の排水口位置も低くなっています。

近年、河川の改修整備が進み大きな災害の危険が少なくなってきたといはものの、当地区では梅雨時に限らず多雨期及び豪雨の際には地区内の農地等において恒常的に水害に見舞われ、遊水池化による農地冠水被害を被っています。とりわけ近年の農地冠水は、大量の流木及び生活ゴミ等が流入することとなり、水稻作農業を営むものにとりましてその撤去に大変な時間と労力を費やすこととなっています。

このことは、上庄小学校校下でも唯一当地区だけが見舞われる災害であり、地区住民にとりましては、大きな不安であり精神的な苦痛にもなっています。

このことから、地区住民の安全で安心な暮らしと良好な営農環境を確保することは、喫緊の課題であり治水対策事業の推進が重要であると考えております。

つきましては、当地区の実情につきまして防災的観点からご配慮いただき、現況の改善を図るべく、適時に適切な治水対策事業が実施されますよう住民一同、切に要望する次第です。

氷見市七分一自治会

会 長 野 手 秀 賢



要望項目③

市道大野七分一線の改良について

七分一地区で最も住宅が密集する地域を南北に貫通する市道大野七分一線の、県道柿谷池田線と交差する七分一公民館前から上庄川新七分一橋に至る区間におきましては、軽四輪車すら安全にすれ違いが出来ないくらいの狭隘な幅員しか確保されていないことに加え、近年車両等の交通量が増加しております。また、小学生・中学生の通学路ともなっており高齢者住民も含め歩行者は、危険を感じながらの通行を余儀なくされています。

さらに、当該市道は、付帯する道路側溝（市道東側）の破損が著しく、側溝清掃を実施しても路面排水の滞留が生じたり、老朽化によるひび割れ等により漏水等の不具合が顕著になってきているのが実情です。

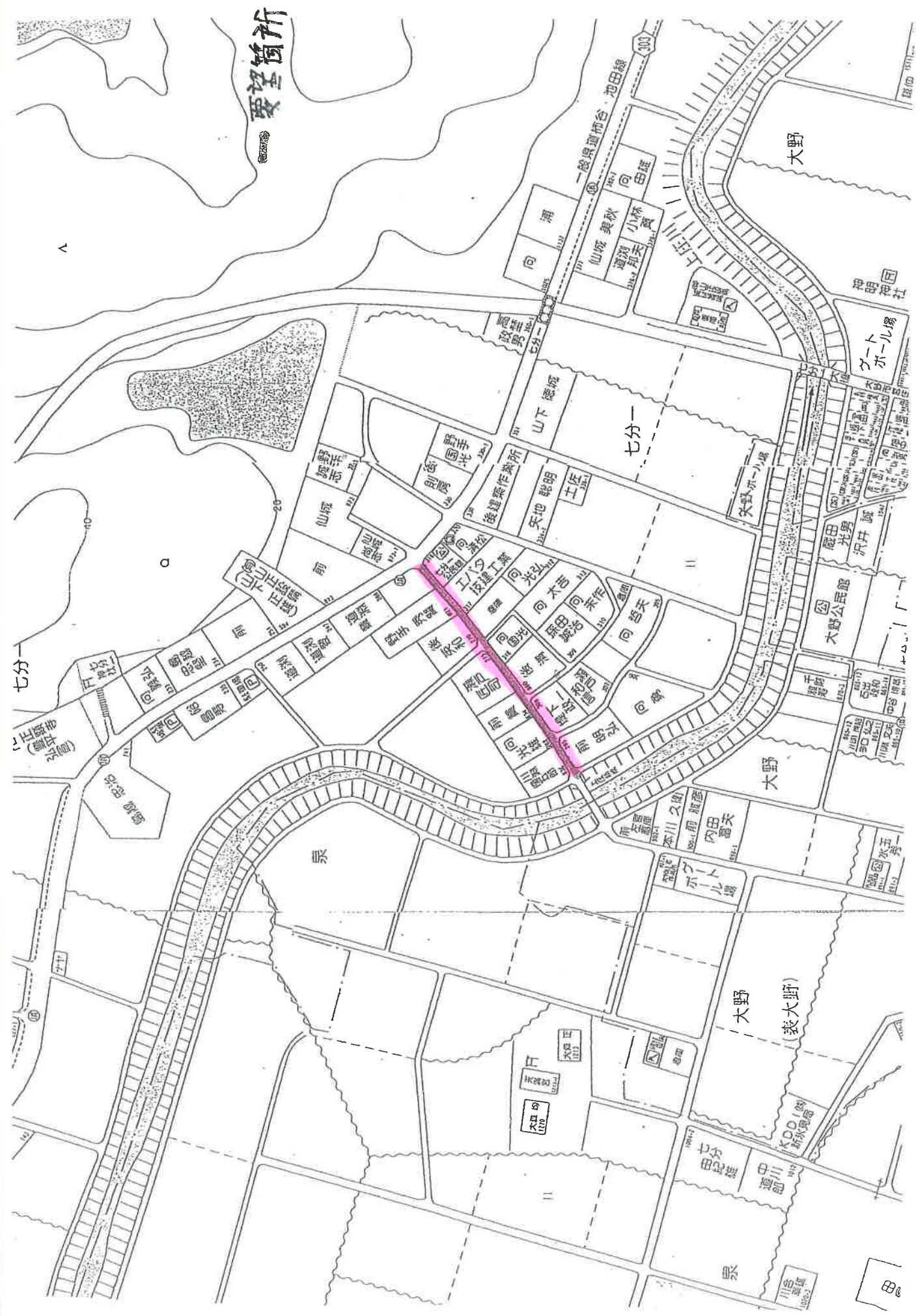
これらのことから、道路側溝の改良による道路幅員の確保と路面排水の円滑な流れを確保し、地区住民の安全で安心な通行と良好な衛生環境を保全する観点から、当該市道の区間改良事業の推進が重要であると考えております。

つきましては、財政状況逼迫の折とは存じますが、当該地区の実情にご理解を賜り、現況の改善が図られますよう適時に適切な改良事業を実施くださるよう要望する次第です。

氷見市七分一自治会

会 長 野 手 秀 賢





望所

大野

神明神社

アトール場

大野公民館

KDDI

アトール場

大野公民館

アトール場

大野公民館

アトール場

大野公民館

アトール場

大野公民館

アトール場

大野公民館

アトール場

大野公民館

アトール場

大野公民館

アトール場

大野公民館

アトール場

大野公民館

アトール場

大野公民館

七分一

七分一

大野

大野

大野

大野

大野

(表大野)

泉

泉

泉

泉

泉

田

要望項目④

市道七分一上山岸線の安全柵設置について

現在、当七分一地区において、氷見市をはじめ関係機関のご理解とご支援により圃場整備事業（当初計画：平成 23 年度から平成 27 年度）が施工実施されており、工事の完成に向けて着実な進展を見せています。

当該圃場整備事業に隣接する当地区の上出地域を周回する市道七分一山岸線及び市道七分一上山岸線は、日頃から地域住民にとりまして大切な生活道路となっています。

平成 27 年度の圃場整備事業として、市道七分一上山岸線と並行して農業用排水路が整備された結果、当該施設が深くて大きいこと等により道路を利用するものに取りまして、人命にかかわる転落等の事故の面から非常に危惧されるものとなっています。

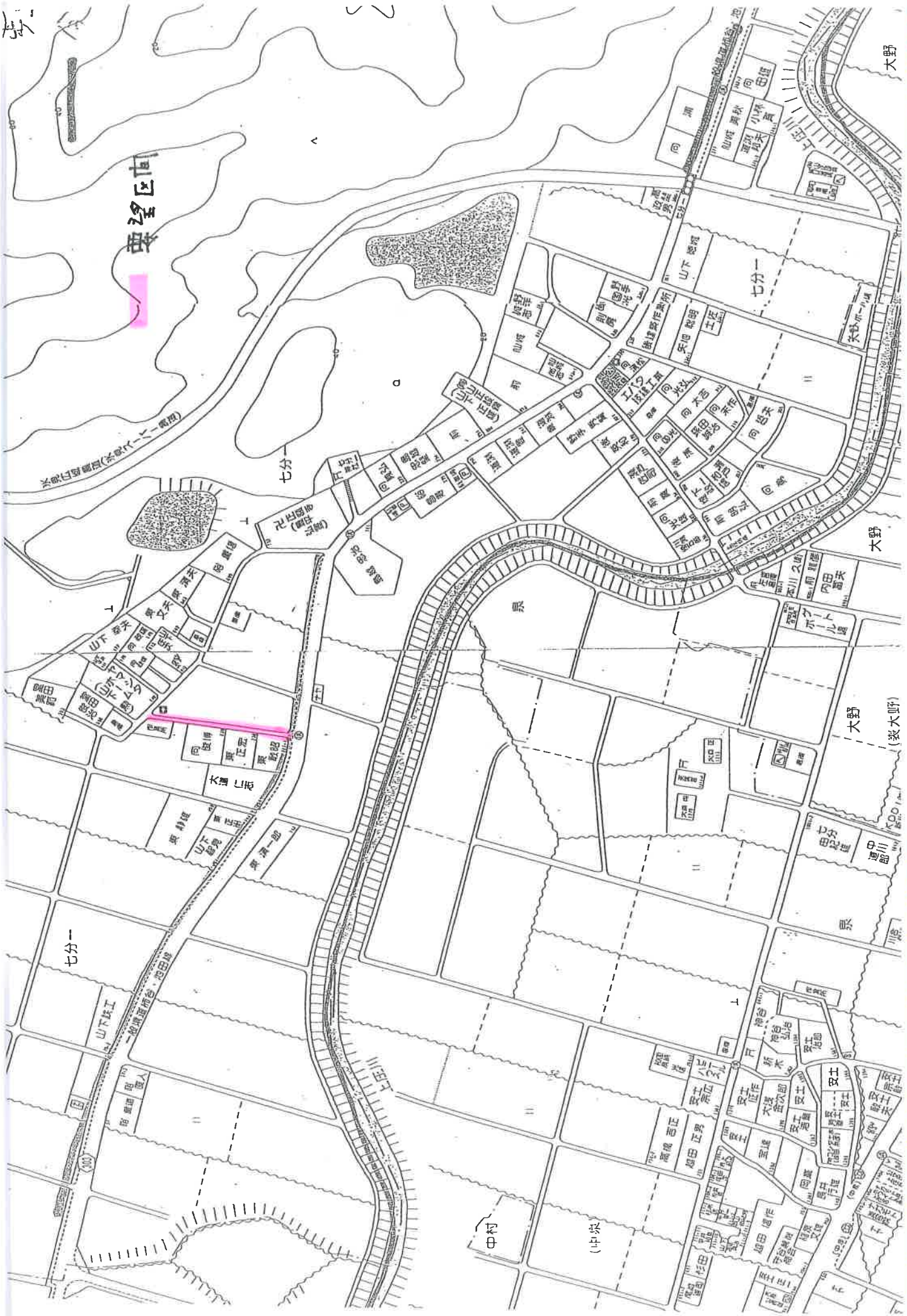
つきましては、地域住民の日常生活の安全・安心を確保する観点からご理解をいただき、安全柵を設置するなどの対策を講じてくださいますよう要望する次第です。

氷見市七分一自治会

会 長 野 手 秀 賢



要望区画



大野

大野

大野

大野

大野

大野

大野

大野